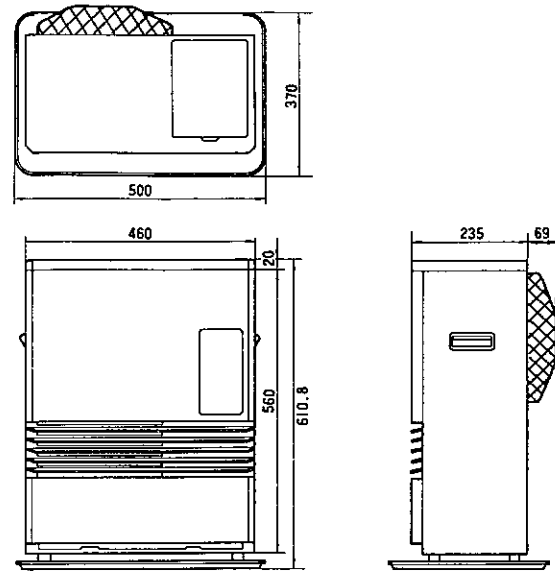
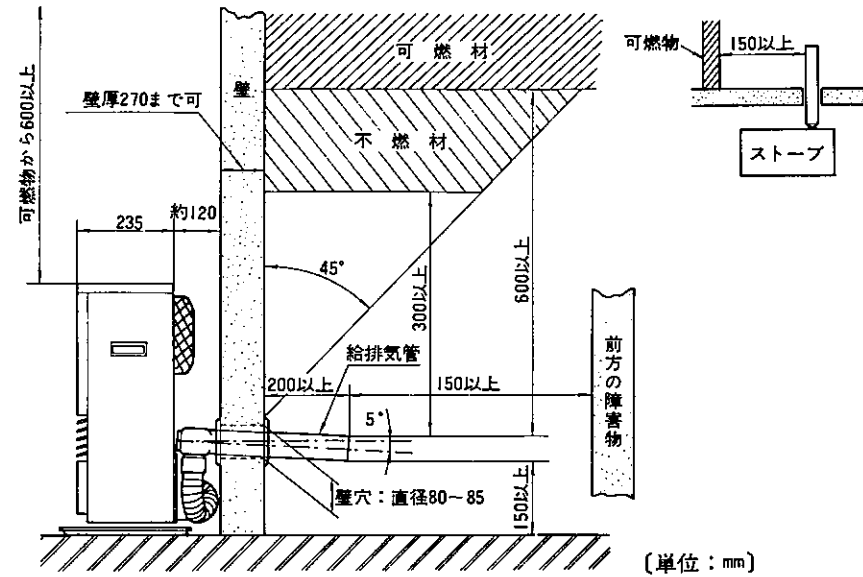


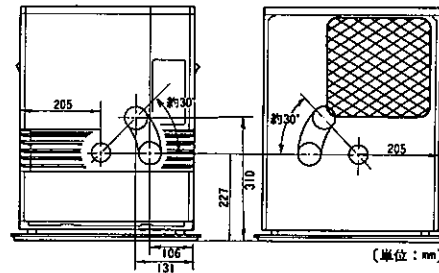
■外形寸法図



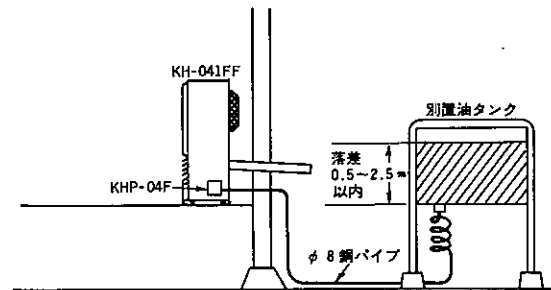
■設置寸法図(標準施工図)



■給排気管取付位置



■油配管(KHP-O4F使用時)



■別置油タンク接続セット(KHP-O4F)取付方法

- ①カートリッジタンク、受皿を本体上から抜き取り、天板(ねじ4本)、ルーバ(ねじ4本)、をはずし前パネル上、下をはずして右側板の黒ねじ(1本)を取ります。
- ②電磁ポンプ吸入側のフレアナットをはずし、HCS(マイコン基板)から水検知、油切れスイッチのハウジングを抜きます。
- ③架台B(油受皿取付金具)と架台Cを止めているねじ(1本)を取り、架台Bを前にずらして架台Cの引っかけをはずし、右側板を少し抜けるが、架台、油受皿を抜き取ります。
- ④KHP-O4Fの定油面器に送油管Aを取り付けます。
- ⑤KHPを本体の架台Bのあった位置に取付けます。この際、裏板の穴に送油管(ホース接続用)をさし込み、架台Cの引っかけに定油面器取付金具をさし込み、ねじ(1本)をとめます。
- ⑥送油管Bで電磁ポンプと定油面器を接続・固定します。
- ⑦裏板からとびだしている送油管に、別置タンクからのホースをさし込み、ホースバンドを締め付けます。この際別置タンクのコックは閉じて行ないます。
- ⑧右側板の半抜き部2か所をニッパーなどで切り取り、切り口部に自在ブッシュを取付けます。短いものを上の穴、長い方を下の穴に取付けますが、長過ぎる時はニッパーで適当な長さに切断し、付属の表示板を右側板の上の穴横に貼ります。
- ⑨別置タンクのコックを開き、側板の上の穴から指で定油面器の赤いリセットボタンを軽く2~3回押すと、別置タンクから灯油が流入します。この際油もれがないか確認します。
- ⑩天板(ねじ4本)、側板(ねじ1本)、前パネル上、下、ルーバ(ねじ4本)をつけます。

■仕様

項目	形式名	KH-O4IFF
種類		強制給排気形・強制対流形
電源・使用燃料		AC 100V・50/60Hz・白灯油(JIS 1号灯油)
点火方式		自動電気点火(電熱式)
燃料消費量(ℓ/h)		(弱) 0.27・(強) 0.48
発熱量(kcal/h)		(弱) 2,220・(強) 3,960
熱効率(%)		(弱) 93・(強) 91
暖房出力(kcal/h)		(弱) 2,070・(強) 3,600
暖房の目安	寒冷地	木造 11畳(18.0㎡)まで コンクリート 18畳(30.0㎡)まで
	温暖地	木造 11畳(18.0㎡)まで コンクリート 15畳(25.0㎡)まで
消費電力	点火時(50/60Hz)(W)	260/260
	燃焼時(50/60Hz)(W)	(弱) 60/60・(強) 60/60
騒音値(dB)		(弱) 39・(強) 41
本体重量(kg)		20
油タンク		カートリッジ式(容量4.9ℓ) 別置油タンクとの接続可(別売品KHP-O4F使用)
タイマー		点火専用マイコンタイマー内蔵(12時間)
燃焼制御	室温調節	マイコンサーモ(14~24°CLEDによる室温表示)
	火力調節	「弱」・「強」・「OFF」3段火力調節(弱連続・強連続のセット可)
対流送風機		電動機：くまとり形・ファン：φ203mmプロペラ
給排気	給排気筒径(mm)	外径φ60.5
	給気・排気筒径(mm)	給気：外径φ54、内径φ49・排気：外径φ40(オス)、内径φ41(メス)
延長限度		3m・3曲り
安全装置	対震自動消火装置	自動消火(水銀式・自動復帰形)
	停電時安全装置	自動消火(自己保持回路により再始動防止)
安全装置	過熱防止装置	自動消火(温度スイッチCH-8 off温度100°C)
	熱間再点火防止装置	マイコン制御
電流ヒューズ		マイコン部(1A)・電源部(10A)
	その他	炎検知(フレームセンサー)・水混入検知(フロートスイッチ)・給油検知(フロートスイッチ)
付属品		置台・給排気筒基本セット一式・スポイト・ホースバンド(2ヶ)ろ紙フィルター・フランジキャップ(2ヶ)・本体取付金具・60Hz用ダンパー・ねじ類(12ヶ)・取扱説明書・設置注意書・保証書・アンケートハガキ

サンデン販売株式会社
サンデン株式会社

名称	密閉式石油ストーブ		
型式名	KH-O4IFF		
承認印			
		図番	
		尺度	